

会長挨拶

照思会は明浄学院高等学校の同窓会として、会員相互の親睦を図り、教養を高め、母校への発展に協力することを目的としております。

大正 15 (1926) 年 3 月、第 1 期生の卒業と同時に照思会が創設されました。明治天皇の御歌「照るにつけ曇るにつけて思ふかな我が民草の上はいかにと」から初代校長の吉沢孝順先生が命名。卒業後の皆様のことをいつも思っている、同窓生がお互いに仲良く助け合って行くようにと名付けられたものです。創設以来すでに 95 年が過ぎ、卒業生の数は 40,000 人を超えています。

同じ学び舎を巣立った私達は年こそ違っても一本の太い根に繋がった姉妹です。お互いに手を取り合って母校と照思会の発展のために努力して参りましょう。

会員の皆様のご指導とご鞭撻を賜りながら照思会を盛り立てていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます

福本幸子 (42 期生)

お知らせ

「秋山明浄にして粧うが如し」の季節を迎えました。

コロナ禍が長びき、当たり前前の日常生活に戻れない中、照思会の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。お伺い申し上げます。

令和 3 年 4 月 23 日、明浄学院高等学校は、学校法人藍野大学様のご支援のもと、文の里の地で創立 100 周年を迎えることが出来ました。記念式典は 24 日、オンラインで開催されました。

さて、今年度開催予定の総会（同窓会）はコロナが収束するまで延期させていただきます。開催につきましては、改めてご案内致します。今しばらくお待ちくださいませ。

秋冷日増しに増す頃、皆様のご健康をお祈り申し上げます。